

望年山行 小檜山 山行報告

日時 : 平成27年12月12日(土) 天気 晴れ
山域 : 奥秩父前衛 小檜山
参加者 : CL 柘植 SL 今泉 井上(里) 大木 加藤 吉瀬 齊藤 澤田(路) 菅井
鈴木(憲) 鶴田 富樫(富) 室(記録)
記録 : 登山口 9:30-父恋し道經由幕岩 11:00-山頂 12:00-母恋し道經由
登山口 13:30

忘年山行のヤブ登りで小檜山を計画したが、天候の事情により一般ルートでのハイキングとなった。小檜山の駐車場は獣よけのゲートを手で開けて、悪道を登ったところであって、車高の低い車はちょっと厳しそう。



父恋し道の入口



冬枯れの道を元気に登る

登山コースは父恋し道という険しい道と、ゆるやかな母恋し道という道がある。我々は父恋し道を登り、母恋し道を下る。

けっこう傾斜のある道を登って行き、稜線に出たところで小休止。久しぶりのちばやまメンバーとのハイキングで、ついて行くのが必死である。



屏風岩というところ



大沢山の山頂

幕岩は鎖場の岩場はどうということはないが、最後に広い岩の上に出るのが、足がかりの少ない岩で、柘植リーダーが最初に登ってお助けロープを出してくれた。幕岩の上は富士山が見えて眺望が素晴らしく、ここでランチタイムとする。風もなく日差しが暖かで、ちっとも寒くなかった。幕岩を下りるときもちょっと緊張したが、柘植さんのお助けロープのおかげで全員無事に突破。

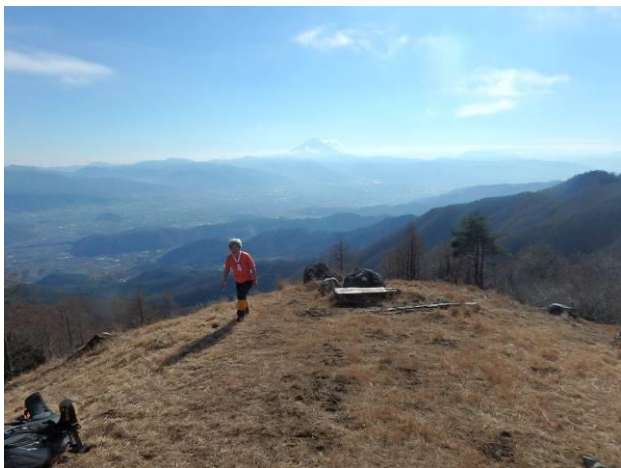


幕岩の岩頭



幕岩のクサリ場（下降時）

そこから小樽山の頂上はほどなくで、広くて気持ちのいい山頂であった。山頂からは南アルプス、富士山、金峰山や瑞牆山が見えるようだが、雲が多めで南アルプスの一部と富士山が確認できただけであった。快晴の日は素晴らしい眺望に恵まれそうだ。奥秩父の山は地味であるが、富士山が間近に見えて好きなエリアである。



正面に富士山と眼下に甲府盆地の絶景



小樽山の山頂で記念写真

下りはなだらかな母恋し道を一気に下りて、あっというまに駐車場へ戻る。そこから大菩薩の湯へ行きのおんぼりと入浴して、福ちゃん荘へ向かった。

当初予定の小樽山東尾根は下草の濡れ等の懸念のため登れなかったが、父恋し道から幕岩経由のハイキングはとても楽しいものでした。